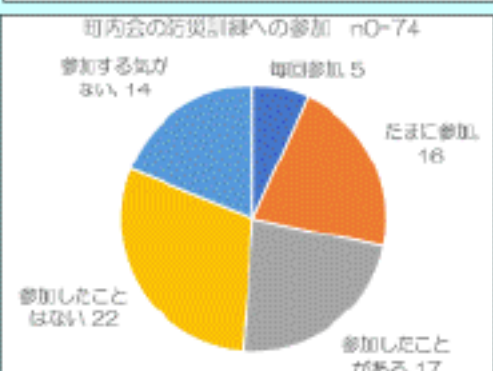
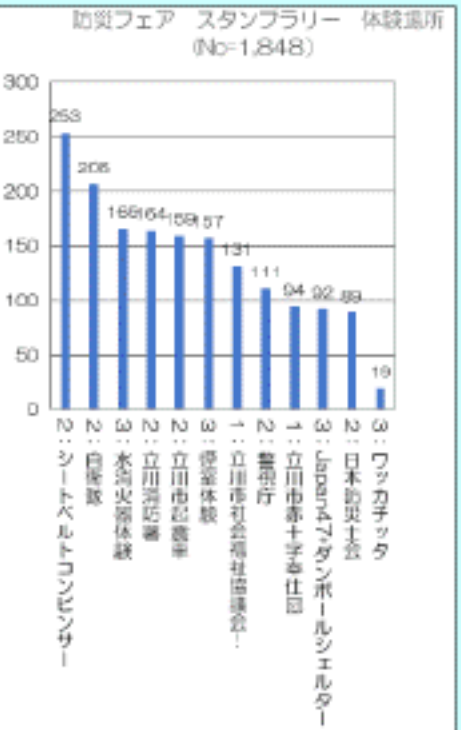
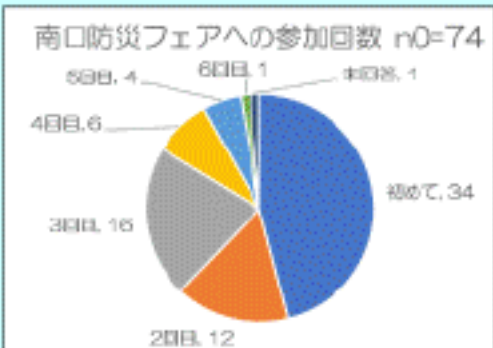
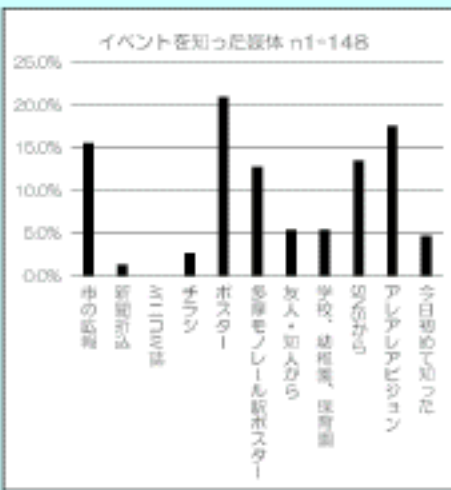
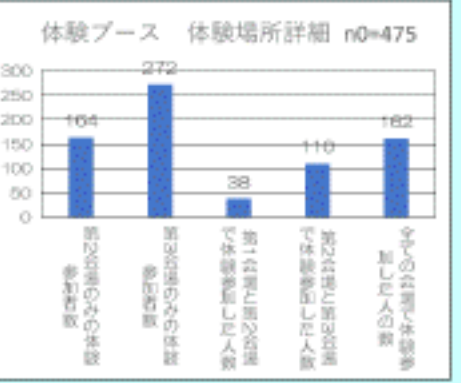
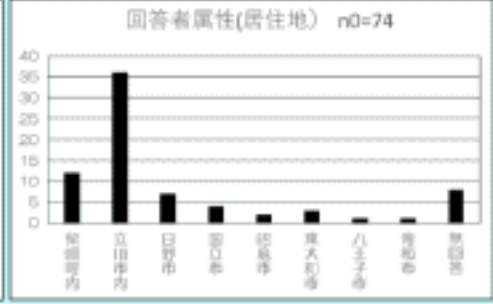
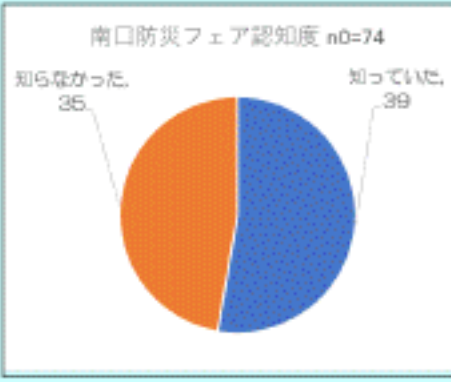


★ 2017会場アンケート (アンケート配布枚数400枚、回収74枚、回収率18.5%、NO=74)



毎年改善を図っている事前告知の成果もあり、確実に南口防災フェアの認知度が上がってきている。また、過去の参加経験者が過半を超えた。

参加者の男女比率はおおむね半々であった。



第6回 市民のための体験型防災フェア 2017
主催：立川南口商店街振興組合

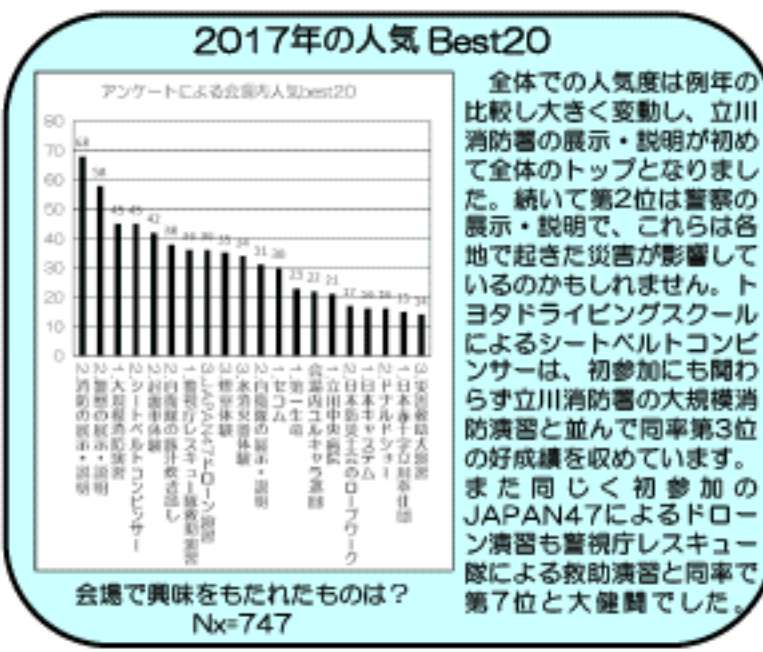
御挨拶 立川南口商店街振興組合 理事長 井上英徳 (防災士)

関係各位のご協力のもと、今回で6回目となる防災フェアが無事に終わりました。今回も前年を上回る来場者となり、多くの若い家族連れで賑わいを見せ、地域に根付いたイベントに成長したと実感しております。さて、2017年も全国各地で噴火や大水害が発生しました。私も全国社会福祉協議会からの依頼で、九州北部豪雨水害の、被災地の災害ボランティアセンターの立上げ支援に行き、水害の恐ろしさを間近で感じてまいりました。私達の住む街も、いずれ必ず大地震に見舞われると言われていました。その時に備える為にも、この啓発活動を続けて行く重要性を、ますます感じております。最後に、ご協力を戴きました関係諸団体の皆さま、出展者の皆さまには、この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。



防災フェアスタンプラリー
見・知・体験する
防災フェア
12月3日
10時～13時

2017年 会場内当日配布 パンフレット



◆ 実行委員会から 実行委員会 顧問 中里 晋 (前・立川南口商店街振興組合 理事長)

2011年3月11日の東日本大震災をきっかけとし「楽しみながら防災を考える」参加・体験型の市民防災フェアを企画・開催してから、早くも第6回を迎えることができました。市民の皆さんにも災害への備えを喚起すべく、今年も防災フェアを企画しましたが、子育て世代の来場者が年々増えており、普段は防災とは縁遠い方でも気軽に参加できる体験フェアとして定着してきたという手ごたえを感じております。ご協力頂きました各防災・行政機関の皆様をはじめ、ご出店・ご協賛いただきました各社様に厚く御礼申し上げます。



第6回 市民のための体験型防災フェア 2017 実行委員会

顧問：中里 晋 (前・立川南口商店街振興組合 理事長)

実行委員長：井上 英徳 (実行委員会委員長、立川南口商店街振興組合 理事長)

実行委員：山田 俊夫、栗原 一雄、並木 宏充、大貫 高輝、田中 正浩、渡井 雅人、小澤 清富、牛山 淳一、小山田 穂、金子 守、長井 琢英、鈴木 実、

後援：立川市、立川商工会議所、立川市商店街連合会、立川市社会福祉協議会、

協力：立川警察署、立川消防署、陸上自衛隊東立川駐屯地、日本救助犬協会、立川市災害ボランティアネットワーク、立川市赤十字奉仕団、多摩信用金庫、西武信用金庫立川南口支店、学校法人大原学園、日本マクドナルド、星槎国際高等学校 立川学習センター、トヨタドライビングスクール、日本防災士会東京都支部多摩ブロック、ワッカチャック、一般社団法人 災害対策建設協会JAPAN47、宗教法人 真如苑、小室ホールディングス (株)、多摩都市モノレール (株)、立川市自治会連合会柴崎支部、立川市自治会連合会鉢形支部、

協賛：多摩信用金庫南口支店、立川けやき座、ほっとすべーす中屋、(株)一和社、西武信用金庫立川南口支店、(株)奈美喜庵、医療法人社団 立川中央病院、東京中央都市開発 (株)、大和ハウス工業 (株)多摩支店、(株)田島、市村製菓 (株)、(株)望山閣、小室ホールディングス (株)、中島建設 (株)、中村建設 (株)、セコム (株)、(株)エコワス、(株)山グリーンランド、(株)コマツホーム、東京美装興業 (株)、大貫商事 (株)、第一生命保険 (株)、柴崎食糧販売 (株)南口堂、(株)ドリミー、野村不動産ライフ&スポーツ(株)メガロスプラシア立川南館、日本キャストム (株)、ミミー電子 (株)、まつ浅、大和興産(株)、(株)東急ストア立川南口店、シミズプランニング、富士建物管理(株)、ホテル日航立川東京、

2017年、初参加の3つのブース

第3位：トヨタドライビングスクール
自動車の衝突時のシートベルトの有用性を模擬体験ができるシートベルトコンベンサーが初登場。多くの方の人気を得ていました。もっと激しく衝突したかったという不謹慎な声も一部ではありましたが・・・

第7位：(一社)災害対策建設協会
JAPAN47
初登場の 災害時におけるドローン活用演習は、多くの方から驚きの声が上がっていました。

第18位：日本マクドナルド
第2会場と第3会場で行われた日本マクドナルド協力によるドナルドショーは、毎回子供達に大人気でした。

手探りで始まった、「体験」を通して防災・減災を考えるとともに、普段防災訓練に参加できていない方も駅前で行うことにより、積極的に「参加・体験」していただくという試みは、回を追うごとに内容も充実し、参加者数も年々増加しています。特に防災訓練への参加率の低い20代～50代の来場者が増加し、リピーターも増えていることで、当初の目的に一步一步近づいてきていると感じています。このような試みは、すぐに効果はあがりませんが、継続する事で「安心・安全な取り組みをしている商店街」とお客様にご理解いただきご利用の促進となればと思っています。記録の意味もめ、今年も報告書を作成いたしました。